

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 コロニー児童デイサービス とみぐすく

公表日 令和7年3月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用定員と活動スペースとの関係は広く持っていますし、活動の内容によっては屋上や他施設を利用するなど計画を立てます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	その日の利用数やこどもの状況等に応じた勤務の調整なども行います（職員の配置数も適切に行っています）	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		個人にあわせた環境整備なども行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		清掃や換気など毎日行っています。 児童の怪我防止の為、床にクッション性のシートを敷いています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		広めの部屋が別室であるので、用途に応じて使用することもあります。	利用者個人での使用(随時)としては設けていないので必要性に応じて検討はできます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6			役割分担や管理面での業務が増えている為、人材育成にて増やしていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			評価して頂いた内容を職員で意見交換しながら周知・改善に向けて取り組んでいきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		気になることがあれば内容に応じてすぐに必要な対応（改善）を行いますし、ミーティングの機会なども設けています。	職員同士の連携漏れができることもあるので、いろいろ試しながら改善していきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		事業所全体で議論し検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		研修の企画は施設全体でも取り組んでいるし、受講したい研修なども相談して頂けることもできます。	取り組む内容に関しては議論を要します。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			新規プログラムや児童の特性に応じた個別のプログラムなど充実を図っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		様々な視点からニーズや課題を客観的に分析します。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		こどもの視点を尊重した計画づくりを、職員と共通理解を図り行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		児童だけではなく職員（チーム）の個性も含めて支援内容を検討し作成しています。	共通認識であっても、解釈や支援で個人差がでてくるため、定期的な声掛けや確認 修正などが必要です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			ツールの充実を図っていきたく考えています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		利用者様、各関係機関と確認をとりながら作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		自事業所だけの取り組みだけではなく、事業所全体での取り組みも参考にしながら立案を行っています。	5領域に沿ったバランスもみながら より良い支援に繋げるようプログラムを組み立てていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		各事業所間で情報交換を行い様々な活動を取り入れるなど充実を図っています。	同じ活動であっても内容を変えながら取り組んだりしていますが、5領域にそって様々な活動を増やしていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		子どもの状況に応じた行動や判断が柔軟にできる支援は必要だと考え、計画を作成しています。	個別と集団、どちらのアプローチがその子に適しているかで様々な見解があります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		気になる児童の様子などあれば、起こりうる事態に事前に備えるなど対策もとります。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	基本的には当日にて確認を行いますし、緊急性があれば すぐの確認・情報共有を行います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		利用時には個別記録を記しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		本人への意思確認を行っています。	本人の意思確認を尊重しながらも、促しを要す場面はあるので、納得できるようアプローチを行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者（管理者）にて参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		必要な児童に対しては行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		各学校によって取り組み方に違いはありますが、児童にとって必要な確認はその都度行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		要請があったり、欲しい情報等があれば行います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		要請があったり、欲しい情報等があれば行います。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1	必要な事例に対しては行いますし、事業所全体でも研修などで組まれる事もあります。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		回数は多くはありませんが、可能な機会があれば行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		定期的（継続的には）には行っていません。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			定期的に説明する内容では無く、確認したいことがあればいつでもご相談ください。管理者にて対応させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		日頃の関わりや、面談での聞き取りにて確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		同意を得ています。	面談の日程調整がとらずらく（いそがしくて）、何度が連絡が続いてしまうこともあります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		送迎の際に 各々職員に確認・相談いただくこともありますし、児童発達支援管理責任者（管理者）にて対応させて頂くこともあります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1	家族会（年1回）や ゆんたく会（年3回）以外では親子バーベキューなどの行事活動を交流の機会として設けています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		子供や保護者から苦情があった際は、速やかに管理者に報告。内容確認とお詫び、対策の検討を行い、本児や家族へ改善内容をお伝えします。また事業所にも苦情等・アンケートボックスの設置なども行っていますのご活用下さい。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			行事や活動のお知らせは毎月行っていますが、発信の媒体は増やしていきたい。

非常時等の対応	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報判断に迷う場合は 管理者にて預かり確認を行っています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定し 訓練等を実施しています。	保護者会（家族会）への周知はまだ十分ではなく増やしていこうと考えています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPの策定、避難訓練などは行っています。	その他必要な訓練については確認しながら実施を増やしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		確認しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	アレルギーのある児童に対しては、医師の指示書にに基づく対応を行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理に努めています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		事例に対して対策を行っています。		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		外部研修への参加、内部研修での取り組みなど毎年実施しています。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		必要なケースがあれば議論したうえで対応していきます。		